

校友会主催 森ノ宮医療大学大学祭 講演会開催

森ノ宮医療大学保健医療学部 理学療法学科 三木屋良輔

去る10月26日(土)、森ノ宮医療大学コスモキャンパスにおきまして、阪神タイガース前チーフトレーナー猿木忠男先生による講演会を、大学祭特別企画として開催しました。

講演内容は、阪神タイガースのトレーナー事情だけに留まらず、プロ野球業界に所属するトレーナー事情や職種構成、具体的な仕事に関してなど幅広く、またタイガース優勝時のエピソードなども交えユーモアにあふれた話に、皆熱心に聞き入っていました。

諸事情により講演会の内容に関してのアナウンスが開催直前となったにもかかわらず、当日は100名

ほどの参加者があり、スポーツトレーナーを始めスポーツ業界への関心の高さがうかがえました。今回ご参加いただいた高校生、在学生、校友会会員、教職員の皆様にとって非常に興味深く有益なものとなったようです。

今後も校友会員の皆様にとって興味深い講演会を企画したいと思います。



わしのうまい 儂農米

鍼灸学科3期生 井上悦子

昨年10月に新米『儂農米』なるものが杉原朝香(2期生)・安子(4期生)さんから送られてきました。その前の年に初めて送られてきた新米を、私はあまり期待もせず、いただきました。ところが、「うっつ!おいしい!」ご飯がこんなに芳しくおいしいものだとは。予期せぬ味に私の脳は感動して、涙がこぼれるほどでした。ご飯だけでもお代わりしたくなるほどの味わいです。聞けば、それは、杉原さんと森ノ宮医療学園専門学校と同窓生が田植えをし、刈り取りまでは、殺虫剤や除草剤を撒いたり、草取りをしたりといった手間を一切かけずに天日干ししたお米と言います。こんなにおいしいお米をもっと手に入れたいという欲望と田植えへの好奇心から、私は翌年の田植えのお誘いに喜んで参加することにしました。

5月2日、長靴を履いてさっそうと田んぼに入りました。しかし、泥の中を進むのは、思いのほか足に力の要る仕事でした。それでも意地で、いつもの田植えメンバーである広島在住の同窓生、松浦さん(6期生)、宝諸(19期生)さん、そして主の杉原さんと競争で植えたのです。そのおかげでその後何カ月も膝痛に悩まされることになったのですが。例年どおり、杉原さんはその後の手入れはしないのかできないのか、田んぼは6月には、雑草のゴンパチ(コナギ)で埋め尽くされたと言います。稲はなんとか育ったようですが、反別収穫量は半減するし、稲刈り時にはこのゴンパチがバインダーに挟まって絡まり、とうとう手で刈るはめになったようです。それでも何とか今年も無事収穫す



ることができました。

杉原さんの従兄がこの年、還暦の若さで亡くなられたそうです。その方は、百姓をこよなく愛し、子ども達にも半強制的に農繁休暇と言って学校を休ませ、教育は農業から始まると豪語されていたそうです。東京農業大学出身で学生運動の闘士でもあった彼は、多くの運動家が挫折していく中、ずっとその思想信条を貫いた人でもあったそうです。「ワシと言う字は『儂』と書くんじゃ」と、自分のことをいつも儂、儂と言われていたそうです。「自然を知らずして鍼灸は語れない」と言う杉原さんは、その精神的支えともいえる存在であったその方にあやかって儂農倶楽部なるものを作り、自然と戯れ田んぼや畑遊びをする人を増やしていきたいと思っているそうです。おいしいお米を手に入れたい方は、田植えに参加されませんか!?

☆連絡先

儂農米生産者 儂農倶楽部代表 杉原朝香(鍼灸学科2期生) TEL0847-62-4272